

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 5年 6月 12日
契約業者名	(一財) 阪神高速先進技術研究所
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務(2022年度)
業務場所	
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式 高力ボルト摩擦接合の限界状態設計法手引きの素案作成・・・・・・・・1式→1式 鋼製橋脚隅角部溶接ビードき裂に関する検討・・・・・・・・1式→1式 既設橋を対象とした鋼橋疲労設計法の高度化に関する検討・・・・1式→1式 カーボンニュートラルの実現に向けた検討・・・・・・・・1式→1式 ASRフーチングの地震時の安全性照査に関する検討・・・・・・・・1式→1式 舗装補修設計の高度化に向けた損傷分析検討・・・・・・・・1式→1式 報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・1式→1式 喜連瓜破高架橋における変状原因に関する検討・・・・・・・・0→1式 床版取替工事における社会的影響の最小化に関する検討・・・・0→1式
業務期間(自)	令和 4年 10月 20日
業務期間(至)	令和 5年 11月 30日
契約金額	38,984,000 円
変更金額	11,649,000 円 増
変更後の契約金額	50,633,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の建設および維持管理に関する調査研究業務（2022年度） 第1回変更

第3章業務内容

3. 2 業務内容

3. 2. 8 喜連瓜破高架橋における変状原因に関する検討【追加】

RC床版の変状について、令和4年10月に実施のコンクリート構造分科会で審議したところ、雨水などの水による影響に関して指摘があり、新たな課題が抽出された。

上記を踏まえ、喜連瓜破高架橋の変状原因を究明するために、過去に実施された調査、補修、補強等に関する検討資料を収集、整理し、水による変状への影響に関する追加調査の必要性を検討することとなった。また、別業務で実施中である調査結果を踏まえて変状原因を検討し、解析計画の作成を行う必要が生じた。

調査結果を踏まえた変状原因の検討については、技術的に難易度が高く、コンクリート構造分科会等と一貫した検討が必要である。加えて、現場調査および既設橋梁の撤去が進行中であるため、早急に追加調査等の検討を実施しなければならない。

以上のことから、本検討は、上記の通り、追加調査の検討、調査結果を踏まえた変状原因の検討を行い、検討会を実施するために追加するものである。

【数量】

既存資料の収集・整理0→1式

追加調査の必要性検討0→1式

調査結果を踏まえた変状原因の検討0→1式

検討会の実施0→2回

検討会資料作成0→2回

3. 2. 9 床版取替工事における社会的影響の最小化に関する検討【追加】

RC床版の更新修繕について、令和5年3月に実施のコンクリート構造分科会で審議したところ、現場施工期間の更なる短縮による社会的影響の最小化を目指すよう、ご意見をいただいた。

これを受けて、阪神高速での車線規制による床版取替え工事を想定し、市場にある車線規制で床版取替え工事が可能な施工法について調査・整理し、阪神高速で適用する場合の課題の抽出や技術開発事項も含めた対応策を検討する必要が生じた。

車線規制による床版取替えの検討については、技術的に難易度が高く、コンクリート構造分科会等と一貫した検討が必要である。加えて、中期経営計画（2023～2025）においても、床版取替え等の大規模更新工事における社会的影響の最小化が掲げられているため、早急に検討を進める必要がある。

以上のことから、本検討は、上記の通り、施工法の市場調査を行うとともに、阪神高速での車線規制による床版取替えを行うための課題抽出と対応策の検討を実施するために追加するものである。

【数量】

床版取替工法の市場調査・整理

－資料収集・ヒアリング0→4工法

－調査結果整理・阪神高速での適用可能な工法選定0→1式

車線規制による床版取替技術の適用に関する課題の抽出

－課題抽出0→1式

－対応策検討・とりまとめ0→1式

第5章業務期間

3. 2. 9の追加に伴い、業務期間を以下の通り延長する。

【変更前】

(自)契約締結日の翌日

(至)2023年10月13日

【変更後】

(自)契約締結日の翌日

(至)2023年11月30日

以上